社員の皆様へのメッセージ

株式会社　イナテック
代表取締役社長　稲　垣　良　次

2015. 6
No.262

イナテック、鳥取県に新拠点

去る4月27日に鳥取県鳥取市に“進出させていただきます”という調印式を行いました。

鳥取県知事　平井伸治様と鳥取市長　深澤義彦様のご出席を賜り、無事調印式を終えることができました。

記者会見では、新聞社が6社、テレビ局、ラジオ局が4社と大変大勢の方々に集まっていただきました。鳥取の方々のイナテックに対する期待の大きさを肌で感じましたし、責任の重大さも痛感いたしました。

鳥取調印式イナテック代表あいさつ文

「本日ここに至るまで平井知事様、深澤市長様をはじめ、県や市の職員の方々に大変お世話になりありがとうございました。

イナテックはこのたび鳥取県鳥取市に新拠点を構えることを決定いたしましたので、その旨を報告させていただきます。

イナテックは愛知県西尾市で自動車用トランスミッション部品製造、並びに試作開発事業を行っております。

２０１０年より事業継続計画(BPC)を展開しており、海外拠点の整備や地震などによる被災対策困難工場の閉鎖および社員の直接雇用化を進めることで、一定の成果を上げてまいりました。

さらに昨今では、新たな課題として愛知県内での人材確保が非常に難しくなってきており、また東日本大震災以降、多拠点化による代替生産の要求も高まってきております。そのために事業継続(BPC)の見直しを検討してきました。

一方、事業拡大を推進してきた精密砂型鋳造や同時5軸加工機を利用した試作開発事業は好調であり、今後も売上げの増加を予測しております。

そこで、生産能力増強のため人材などのリソーセス確保が必要になってきております。

鳥取県様では、電機産業に替わり航空機部品、自動車部品さらには医療系などの製造業の積極的な誘致を進めてみえます。

また、機械工業系の教育においても大学や求職者向け職業訓練機関で強化をされ、イナテックの事業領域に関連する優秀な人材が豊富な地であると考えています。

さらに、鳥取県は愛知県のイナテックから輸送の利便性を考慮した地域のなかでも地震の心配が少ない地域にあります。

以上のような好条件を考え、イナテックは鳥取県鳥取市に試作開発事業などを皮切りに、新拠点を構える運びとなりました。

イナテックグループの拠点の分散により、引き続き事業継続計画(BCP)を推進して経営の安定化を図ります。また、鳥取県においての雇用創出と地元経済の発展に貢献したいと考えておりますので、今後共ご指導ご鞭撻をお願いいたします。」

というあいさつをさせていただきました。

社員の皆様へもこの文章を読んでいただき主旨を理解してもらい、イナテックグループとして皆で頑張っていきましょう。よろしくお願い致します。

二五

爭先的徑路窄、退後一歩、自寛平一歩。濃艶的滋味短、清淡一分、自悠長一分。

先を争うの径路は窄し、退き後るること一歩なれば、自から一歩を寛平にす。濃艶の滋味は短し、清淡なること一分なれば、自から一分を悠長にす。

一　径路――こみち。伊川擊壤集巻六、「仁者吟」にほぼ同意の詩がある。二　寛平――広く平らか。三　清淡――軽くあっさり。

一歩を先んじようと争う小路は、ひどく狭い。そこで人より一歩だけ退いて通るようにすれば、自然に一歩のぶんだけ広く平らかになる。また、あまり濃厚な味のうまさは、長続きはしない。そこで人より一分だけ軽くあっさりするようにすれば、自然に一分のぶんだけうまさが長続きする。

創業の原点

vol.48

確かな技術と磨かれた心で社会に貢献

株式会社
イナテック
代表取締役社長
稲垣良次

和と実行をDNAに

「和と実行」。これは父が昭和二十六年に当社を創業した時から、私どもが大切にしてきたDNAです。

朝鮮動乱で経済が活況を呈する中、自ら商売を手掛けたいと考えた父は、鉄工所勤務で培った切削加工技術を武器に、水道ポンプの柄の加工を営む会社を起こしました。当時の社員はまだ数人しかおらず、全員住み込みで働いていました。創業の翌年に生まれた私は、皆さんと母のつくる料理を囲み、よく一緒に遊んでもらう中で、父母を中心とする心地よい一体感を感じながら育ちました。

時代は繊維産業の全盛期でしたが、先見の明のあった父は、トヨタ自動車様のお膝元である地元愛知の地の利を生かし、何の伝もなかった自動車業界の仕事を果敢に開拓しました。日頃から「すぐ動け」が口癖で、自ら先頭に立ち率先垂範で業務に邁進していた父は、社員との和、そして旺盛な実行力によって、現在の主業務である自動車部品の切削加工に乗り出し、当社発展の礎を築いたのです。

百年企業を目指して

父母が早朝から深夜まで一所懸命働く姿を見て育った私は、大学卒業後、何の迷いもなく当社に入社しました。入社後は厳しい現場仕事を経験し、お得意先を回り、様々な勉強会にも参加して経営者としての素養を懸命に養いました。

ところが次第に、経営のやり方を巡って父と衝突をするようになりました。親子が事あるごとに口論を繰り返すため、社内の動揺は広がりました。このままではいけない、と危機感を募らせた私は、ある日意を決して、自分に経営を任せてほしいと父に訴えました。

「いいぞ、やってみろ」

私の予想に反して、父はすんなりと私に経営を譲ってくれたのです。平成二年、三十八歳の時でした。

創業当初、幼い私の手を引いてはお取引先を訪ねていた父が、私の社長就任後は経営に一切口出しをしなくなりました。その父の気持ちを推し量ると、私に経営のバトンを渡す日をずっと待ちわびていたのかもしれません。父の思いに応えるべく尽力した結果、当社は年商百七十億円、従業員五百十名を擁する組織に成長しました。

試練といえば、平成元年に本社工場を移転した当初、生産環境の変化からお客様の求める高度な品質要求になかなか対応できなかったこと。また、リーマン・ショックの時に一時生産停止を余儀なくされたこともありました。しかしそれぞれの難局を全社一丸乗り切ることができたのは、「和と実行」というDNAが会社にしっかりと根づいていたからに他なりません。私はそのために二十年以上にわたり、毎月の給料袋に全社員に宛てたメッセージを発信し続けてきました。

十四年前に創業五十周年の節目を迎えた時、私はこのDNAの一層の浸透を図るため、「確かな技術と磨かれた心で社会に貢献」という新しい経営理念を掲げました。私は今後もこの理念を社員に語り続け、社員とともに人間性を磨き、社業を通じて社会に貢献する百年企業へ邁進してまいります。

――取材・執筆／致知編集部

確かな技術と磨かれた心で社会に貢献

自動車用オートマチックトランスミッション部品の切削加工・組付
各種試作品、小ロット品の精密砂型鋳造・切削加工

株式会社イナテック 〒444-0704 愛知県西尾市鳥羽町大入20-1 TEL.0563-62-6368 FAX.0563-62-6221 http://www.inatec-corp.com